

平成25年6月 第7回教育委員会 議事録

開催日時 平成25年6月25日(火)
 午後1時30分～午後5時00分
 開催場所 南部町役場 天萬庁舎会議室
 出席委員 毎川委員長、佐藤委員、野口委員、細田委員、永江教育長
 説明員 板持教育次長、福田総務・学校教育課長
 書記 橋田主幹
 欠席委員 なし

	【開会 午後1時30分】
	【1. 互礼・開会】
	【2. あいさつ】
委員長	開会挨拶
	【3. 会期の決定】
委員長	会期を午後5時00分までとする。
	【4. 非公開案件の決定】
委員長	非公開案件の決定
	8. 報告Ⅱ、9. 議事Ⅱ、11. 協議Ⅱ
	【5. 報告Ⅰ】
教育長	1)教育長報告
	①月例報告 議案資料(P1)のとおり
教育次長	②事務局関係報告
	○6月定例議会一般質問について 別添資料(P1～24)のとおり
	○保・小・中一斉公開日(H24.6実施)のまとめについて 別添資料(P25～28)のとおり
	○事務局職員の異動について
	③総務・学校教育関係
	○教育支援センターの連携に関する協定について 別添資料(P29～30)のとおり
教育次長	○平成24年度学校給食費収納状況について 当日配布資料(P31)のとおり

課長	○平成25年度西伯郡中学校総合体育大会の結果について
	別冊資料のとおり
	○平成25年度教職員等中央研修の派遣について
	○南部中学校区のALT交代について
教育次長	④人権・社会教育関係
	○平成24年度住宅新築資金等貸付金の決算状況について
	当日資料のとおり
	○祐生出合いの館「夢を形にして30年～安部朱美創作人形展」の状況について
	当日資料のとおり
	○ニューエルダー塾の開講について
	別添資料(P32)のとおり
	⑤その他
	なし
委員長	①から④までの報告について、質疑はないか。
委員長	給食費の収納について、児童手当の充当は保護者の了解はとってあるものか?
次長	保護者の了解がとれたものだけである。
委員	教育支援センターの協定について、もう少し詳しく伺いたい。
教育長	今回は南部町と伯耆町との締結だが、最終的には西部市町村のどこの児童がどこでも受け入れてもらえる状況が理想。実態としては、江府町の児童が伯耆町に通級している実態があるという話も聞いている。
委員	日野町の「わかあゆ」はなぜなくなったのか?
課長	通級児がいなくてもかもしれないが、センターそのものが必要ないということでもない。通級児がなくとも相談活動は必要である。様々な見地から必要性の検討すべきである。
委員	コミュニティ・スクールの視察受け入れの状況は?
教育長	先日は北海道の紋別市を受け入れた。教育委員会ではなく、市の新任係長研修として、テーマを「生きる力を育む環境づくり」として、本町の「コミュニティ・スクール」や智頭町の「森のようちえん」の視察をしたようだ。職員の人材育成として、本町でも、紋別市の姿勢に見習うべきところがあると感じた。
委員	24日(月)の「献立ウォッチング」とは何か?
教育長	教育長が給食の試食をし、試食や献立を通じて感じた意見を伝えるという試み。
委員長	住宅新築資金貸付について
	貸付時点での窓口はどこか? そもそも教育委員会がすべき事務か?
	滞納について、支払わない者への罰則や法的措置はとらなくてよいものか?
教育長	以前は法律に基づいて、県や町長部局でやっていた業務である。町合併時に、人権施策課の業務として、人権教育と併せてやっていた業務が今に至るが、教育委員会の職員がすべき業務でないことは、引き続き話しをしていきたい。決算状況については、議会で報告をし、質問にも答弁している状況である。
	もとの始まりから考えても、なかなか解決の難しい業務である。
	【6. 専決処分】

教育次長	なし
	【7. 議事 I】
教育次長	議案第16号「平成25年度6月補正予算要求」について
	(議案資料P6により説明)6月21日議決済みの補正予算。
委員長	質疑はないか。
	～質疑なし～
	この件について承認でよいか。
	～異議なし～
教育次長	議案第17号「平成25年度南部町の教育」について
	(別冊資料により説明)
委員長	質疑はないか。
委員	保護者支援の検討の中で、要保護準要保護基準の見直しとは具体的に何か?
教育長	国の生活保護基準が下がり、西部町村で該当者に影響がないかを検討する。
委員長	この件については承認でよいか。
	～異議なし～
教育次長	議案第18号「南部町進学奨励金交付要綱の一部改正」について
	(議案(P6-1)により説明)
	高校以外に大学、専修学校等を追加した。
教育長	合併時の両町の調整で、まずは高校への進学を保障することからスタートした。
	その後、高校無償化などの時代の変化もあり、昨年の地区実態調査の結果を見ると、
	大学進学率が非常に低いことから、見直しとした。
委員長	地区であれば無条件か?経済的な判断基準があるのか?
教育長	地区外の場合、県の育英奨学金の基準。地区と地区外で基準に差がつけてある。
委員長	この件については承認でよいか。
	～異議なし～
	【8. 報告 II】 非公開
	【9. 議事 II】
	なし
	【10. 協議 I】
	1)委員提案(報告)
委員長	○委員長より
	(別添資料P42～46により説明)
	①6月の委員報告 ・会見小運動会・法中生徒の活躍・会見二小運動会
	・西伯小計画訪問・一斉公開日
	②南部町教育振興計画策定について
	③祐生出会いの館関連企画について
	・「大国主と赤猪」の土人形の活用を
	・「法勝寺電車」ペーパークラフトの活用を
	この件に関して何か意見はあるか。

委員	どの件についても頭が下がる、全くそのとおりである。
委員	一斉公開日に西伯小学校でテストをしていて、入室を断られた。
委員	公開日の日に「あいさつ」を各校で心がけておられるのはよいが、授業中に後ろを向いてあいさつをしてくる子がある。授業中なのに違和感がある。
	2)事務局提案
課長	①学校マニフェストについて
	目標を明確にすることがねらいで、具体的数値目標をあげ、1年間の到達度評価を各学校でしてほしい。7月には委員会提案を経て、公表をしたい。
	②小中学校の土曜日の開校について
教育長	他県や私立学校ではすでに取り組んでいるが、南部町としてどうなのか？
	委員の皆さんの率直なご意見を聞きたい。
委員長	委員として方向性は出したい。
委員	自分が勤務しているときに土曜日がなくなり、子どもの体力、学力が下がったと感じている。また、勉強についてこれない子への手立てができなくなった。
	親とのコミュニケーションがねらいだったが、家で寝ていたり、テレビやゲームをしている実態がある。ぜひやりたい。
委員	長男、長女のときに土曜日が休みになった。生活のメリハリをつけるためにも半ドンは良かった。土曜日が休みになったことで、子どもは習い事が増えた。
	スポーツ、音楽、塾など、ゆとり教育ではなくなった。今の子どもにいきなり毎週は難しいのでは。隔週でもよい。
委員	ゆとり教育は失敗だったと思う。大賛成だ。全部でなく月1回程度からでもよいと思う。
委員長	学校は週6日間すべき。子どもたちには大人になる準備のために、学力と規則正しい生活をさせてやりたい。県はどのような動きか？
教育長	手順を踏んでやると思う。町として、どのような形で実施可能か整理していきたい。
	③その他
	なし
	【11. 協議 II】 非公開
	【12. 今後の主な予定】
	議案資料P5で確認
	【13. 次回教育委員会開催日について】
	1)7月(第8回)定例教育委員会の開催について
	日時 7月18日(木) 午前9時00分～
	会場 南部町役場天萬庁舎
	【14. 互礼・閉会】 午後5時00分